



## こころの駅舎 増刊号

### 「体験談」に寄せて～医師からのメッセージ～

辛い病気と向き合う人に、ホッと温かさを感じさせてくれますね。こころの駅舎の地道な努力が織り込まれている気がします。

医師にとって、バイブルのような冊子だと思います。発表して下さった皆さんに、心より感謝申し上げます。

ご本人・ご家族の体験談を読ませていただきました。

がんと向き合い支え合い共に生きていく姿に大変心強いものを感じました。様々な場面でいろんな心の動きはありますが、気持ちを共有することで癒されますね。もちろん私達医療者も皆さんのパワーに助けられています。ありがとうございました。

「がんと向き合い 私らしく生きる」を読ませていただきました。

がん患者さんやそのご家族の思いが込められていて感動しました。がん治療を受ける側の思いがよく表れていて心が痛みます。沢山のがん患者さんの看取りを行うと、しだいにそれに慣れていって、悼みの気持ちが薄れていくことが怖いです。いつかまとまった本になればよいですね。

すばらしい内容、ボリュームに感銘いたしました。

たくさんの市民の方に読んでいただきたいですね。

「がんと向き合い 私らしく生きる」読ませていただきました。

患者さん本人のお話、ご家族を亡くされた方のお話、どれもとても考えさせられる内容で、貴重な冊子だと思います。作製して頂いたことに深く感謝いたします。

昔病理解剖をやった者として、病理解剖のページは、特に教えて下さったご家族の方の思いに頭が下がります。今後の化学療法の進歩は、この様な形でご遺体から学ばせて下さった多くの患者さん達の献身に支えられていることを、改めて思います。

30年も前に私が解剖させて頂いた方々は、抗がん剤の副作用で命を失われた方も多かった気がします。尊い献身の積み重ねの中から、新しい治療法が開発され、後世の患者さん達を支えているのだと思います。

がんに向き合う患者さんやご家族の心や体のご様子が皆様のお話からよく理解できました。今後がんと闘病に向かわなければならない人々にとって燈台の明かりになる出版のような気がします。

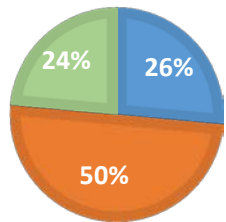
お話し下さった皆様への感謝と、冊子を出版して下さった皆様にお礼を申し上げます。



“中国新聞に掲載!”



4月26日(日)に、「がんと向き合い 私らしく生きる」が中国新聞に掲載されました。反響は大きく、2週間で35件を超えるお問い合わせがあり、希望者に約60冊送付しました。



送付後、「大変感動した。」「友人に紹介したい。」「自分の地域にも、こうした集いが欲しい。」など様々な感想が寄せられました。

■がん患者 ■家族 ■支援者



体験談冊子をお届けした方から、こんなに可愛らしいお便りが届きました！  
(犬のモデル；中国新聞4コマ漫画 栗之助くん)

\*「がんと向き合い 私らしく生きる」  
「がん患者“あるある”かわら版」小冊子についてのお問い合わせは、  
(一社)東広島地区地域連携室あざれあ  
にお願いいたします。

東広島市在宅医療・介護連携推進事業



かわら版増刊号(令和2年6月1日)

こころの駅舎発行



〈事務局・発行協力〉  
一般社団法人 東広島地区医師会  
地域連携室あざれあ  
電話：082-493-7360  
FAX：082-493-7361

